

文化資産としてのマイクロフィルム保存

矢野 正隆（東京大学大学院経済学研究科）

いま何故マイクロ資料の**保存**なのか

マイクロ資料はあくまで**代替物**であって、
原本さえ保存しておけばよいのでは？

モノは永遠には残らない → 情報保存に媒体の代替は不可欠
情報保存の媒体として、紙に次ぐ実績を有する。

紙の保存と何が違うのか

紙と別に「マイクロ資料の保存」と
差別化する必要はないのでは？

破壊・劣化の
外的要因（天災・人災...） → 媒体の種類は無関係
内的要因（酸性紙問題・**ビネガーシンドローム**...）
→ **媒体の構造に関する理解が不可欠**

文化資産としてのマイクロフィルム保存に関する基礎研究（基盤B 課題番号24300094）

代表・小島浩之（東京大学大学院経済学研究科講師）

- ①日本におけるマイクロフィルム保管状況の情報集約と現状分析
- ②マイクロフィルムの劣化・異常現象の実態調査と分析
- ③マイクロフィルム状態調査の方法論と調査結果に基づく対応手法の確立
- ④マイクロフィルムの保管のための環境条件の考究

国内における現状

実地調査 + 質問紙調査

マイクロ資料の位置付け

代替物として、独自の資料として

個体把握状況

本数、タイトル数、キャビネット数

利用状況

保存環境

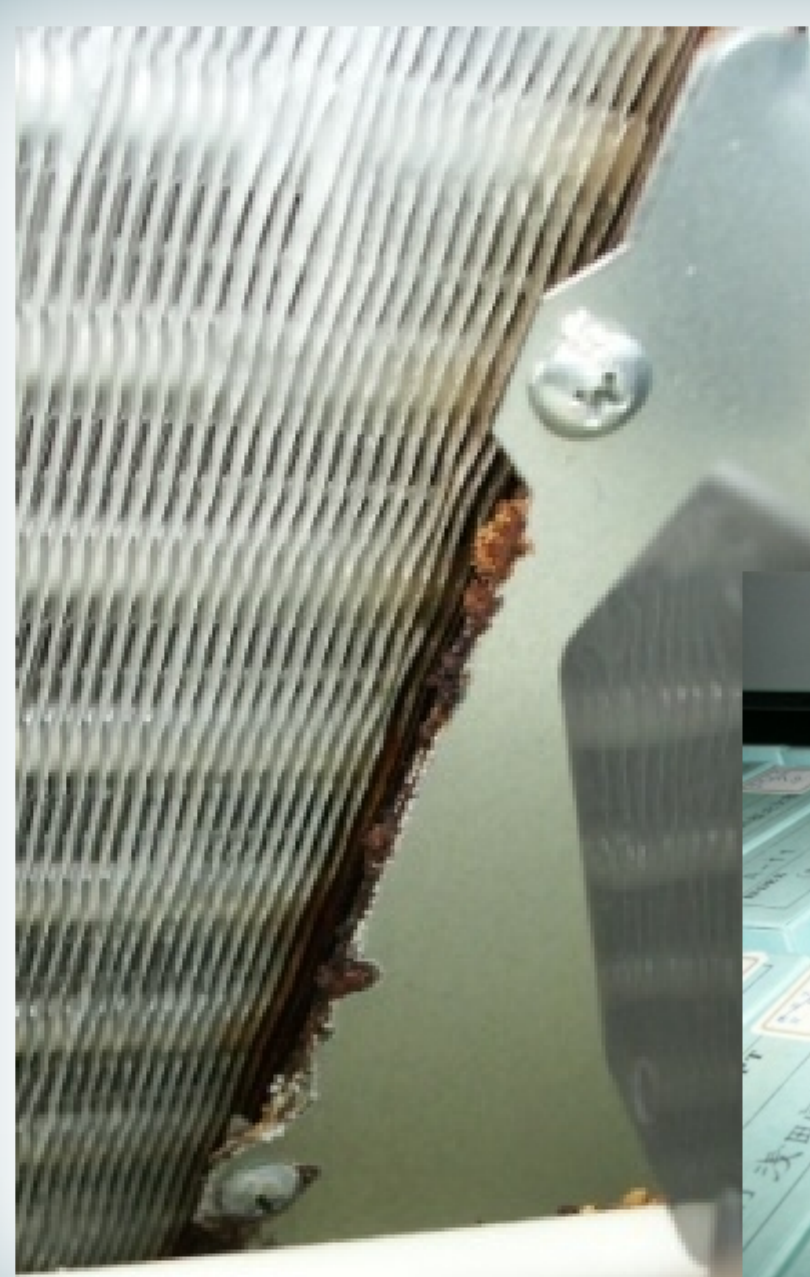
適切な温湿度設定になっているか

劣化状況

環境条件

大環境

小環境



フィルムの種類と劣化・異常現象

温湿度に起因する異常現象

フィルムの型式分類

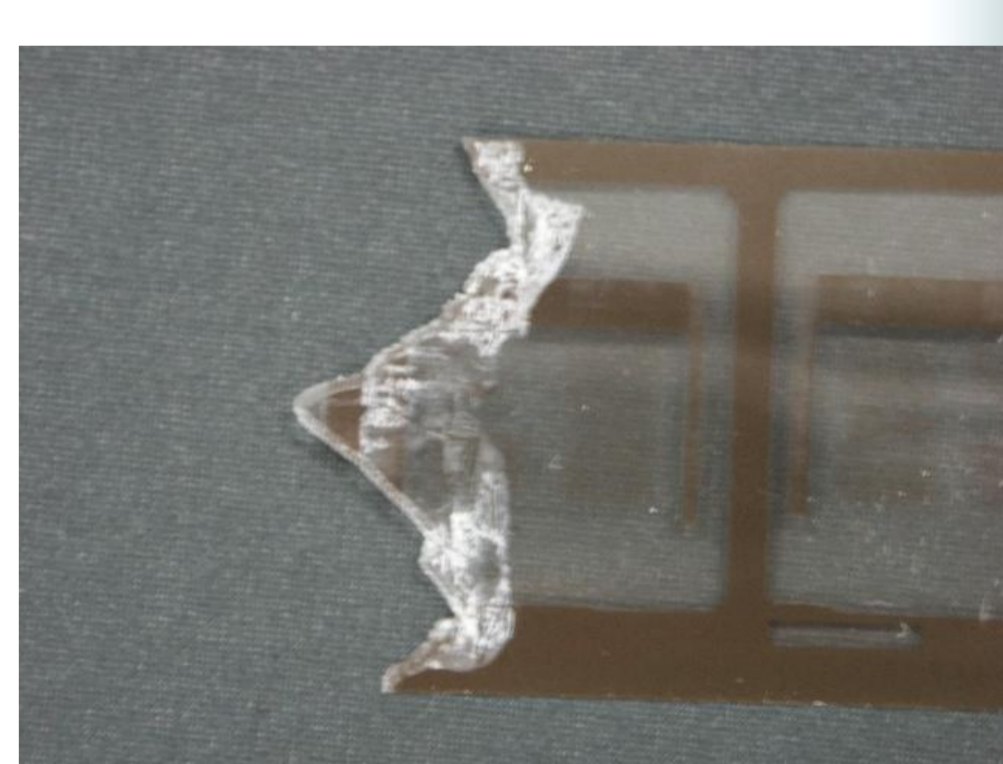
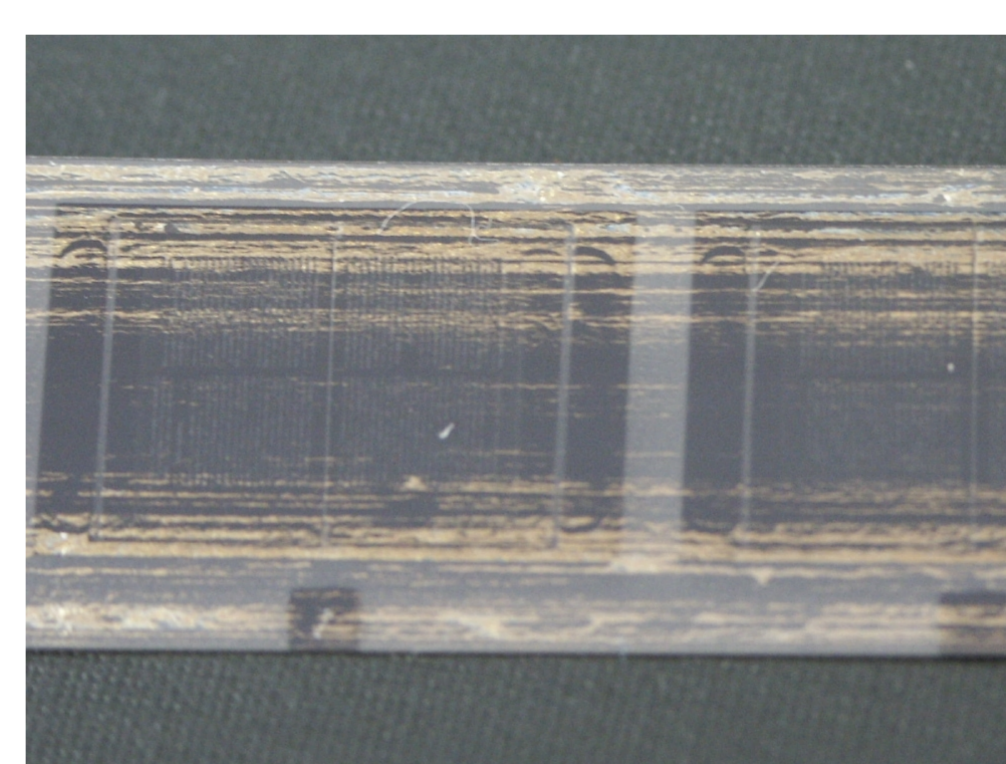
ベース素材	TAC				PET				
	白黒		カラー		白黒				
フィルム世代	オリジナル	複製		オリジナル	複製	オリジナル	複製		
画像の陰陽	ネガ	ネガ	ポジ	リバーサル	リバーサル	ネガ	ネガ	ポジ	
画像形成方法	銀塩	○	○	○			○	○	○
	ジアゾ		○	△				○	△
	ペシキュラ							○	○
色素				○	△				

JIS Z6009:1994

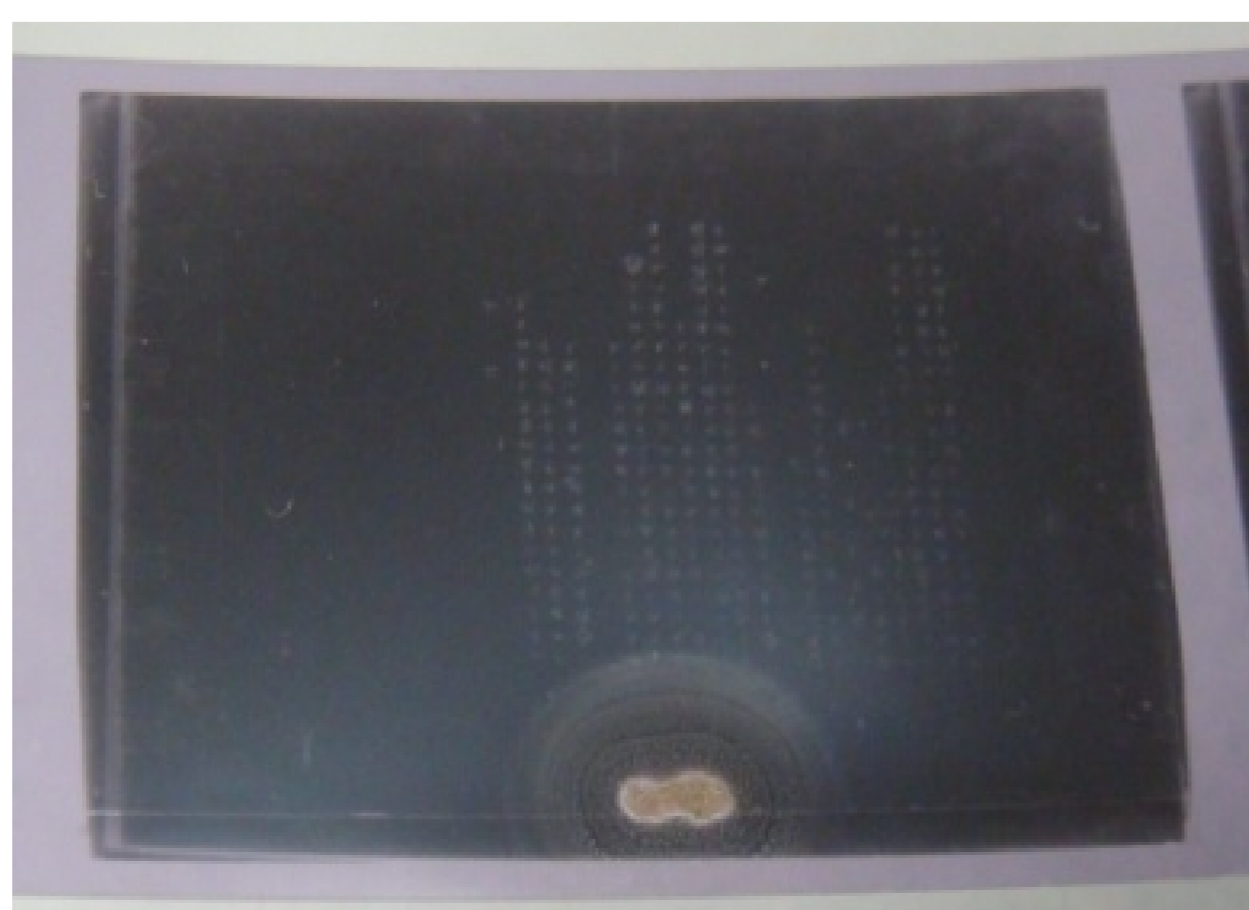
保存条件	温度 (°C)	相対湿度 (%)	
		TAC	PET
中期保存	25	15-60	30-60
		最高	
永久保存	21	15-40	30-40

JIS K-7641:2008

画像	ベース	最高温度 (°C)	相対湿度 (%)
5	20-40		
PET	7	20-30	
	21	20-50	
カラー	TAC	-10	20-50
		-3	20-40
		2	20-30



変色・褪色（硫化・マイクロスコピックブレミッシュ・銀鏡化）



ビネガーシンドローム

